

学校関係者評価委員会

平成 28 年度第 1 回委員会 議事録

1. 日時及び場所

日 時：平成 28 年 10 月 12 日（水）18:30～20:00

場 所：修成建設専門学校 会議室

2. 出席者

(1) 委 員

藤田晴樹様（委員長）・丸山徹様・相賀勝様・山崎充様・武井彰様・
田中文雄様・大和正様・苅野起三子様（計 8 名）

(2) 学 校（オブザーバ）

山下裕貴（理事長）、堤下隆司（校長）、谷川博康（学生相談室室長）、増田和浩（建築
科長）、野瀬孝男（土木工学・建設エンジニア学科長）、中安哲男（ガーデンデザイン
学科科長）、中島良明（住環境リノベーション学科副科長）、亀井哲男（事務局長）（計
8 名）

（参加者合計 16 名）

3. 配布資料

資料 1-1：平成 28 年度第 1 回委員会 議事次第

資料 1-2：参加者名簿

資料 1-3：平成 27 年度第 2 回委員会 議事録（案）

資料 1-4：学校自己評価報告書採点用紙と返信封筒

4. 議事次第

(1) 開会挨拶（資料 1-1）

堤下校長から開会の挨拶に続き、学校関係者評価委員会の意義および趣旨説明があ
った。続いて、藤田委員長の挨拶があり、山下理事長から挨拶および学園の現状に
ついての報告があった。

(2) 議事内容の説明（資料 1-1、資料 1-2）

堤下校長から本日の議事内容の説明があった。

(3) 前回（平成 27 年度第 2 回委員会）議事録（案）の確認（資料 1-3）

中安委員より前回開催された学校関係者評価委員会（資料 1-3）の議事録について説
明があり全会一致で前回議事録が承認された。

(4) 議 事

1) 学校関係者評価委員会報告書について

まず、学校側から平成 27 年度自己評価報告書に示す基準 1 から基準 10 について下
記のとおり説明があった。

- 基準 1：教育理念、教育目標：堤下校長
- 基準 2：学校運営：山下理事長
- 基準 3：教育活動：各科長・副科長
- 基準 4：学修成果：各科長・副科長
- 基準 5：学生支援：亀井事務局長
- 基準 6：教育環境：亀井事務局長
- 基準 7：学生募集と受け入れ：山下理事長
- 基準 8：財務：山下理事長
- 基準 9：法令等の遵守：堤下校長
- 基準 10：社会貢献・国際交流：堤下校長

各委員からの質問・意見をまとめると次の通りである。

① 進学者の内訳について

卒業生の 15%程度が進学で、その内 80%が内部（専科 2 級建築士科）進学である。大学編入希望者は留学生中心であったが、現在は日本人学生も増えており、実績がでてきている。それぞれの学生の目標に合わせて対応し、今後も全員合格を目指して考えていく。

② インターンシップ制度の内容について

学内では 1 週間程度のインターンシップを推奨しているが、昨今では会社説明会を兼ねた 1 日のインターンシップが増えてきている。しかし、設計職は比較的長期インターンシップ受入れに協力頂く企業が増えてきた。今後も学生の目的意識の向上、就職のミスマッチの防止などのため、全員参加を目指して努力していきたい。

③ 造園業の「技能士」資格取得について

ガーデニングデザイン学科では現場業務ですぐに必要な資格として、3 級造園技能士を受検させている。2 年次に 2 級施工管理技士学科試験も受験させている。今後は、多くの学生が受験、合格できるよう努めていく。

④ 学校の PR について

現在建築士事務所協会の各行事に積極的に参加しているが、もっと商工会や経済界の集まりに積極的に参加して PR された方が良いとのアドバイスを受けた。

(5) 評価採点用紙の提出期限

平成 28 年 11 月 30 日（水）

(6) 次回開催日時

日時：平成 29 年 2 月 15 日（水）18：30

場所：修成建設専門学校 会議室

内容：平成 27 年度学校関係者評価報告書について

以上

（記録・文責：中島良明・増田和浩）